




平成28年度現地検討会実施状況（エゾシカ対策等）

分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
エゾシカ対策	エゾシカの立木食害等が天然更新等に与える影響調査事業現地検討会	7月27日～28日	北海道森林管理局保全課	釧路市阿寒町（国有林） 釧路町（国有林）	国有林	14名	エゾシカによる森林被害の今後の対策について考察するため、専門家とともに現地で被害状況や林分の変化を確認しながらエゾシカが森林に与える影響の実態に関する現地検討を実施	平成21年度より実施している調査が2巡目に入り、前回と現在の概況を説明の上、経年による被害状況や林分の変化を現地確認して専門家の方から意見をいただいた。 エゾシカ捕獲を積極的に実施されている地区であるが、エゾシカの食害の影響が進行している箇所についての評価方法、捕獲事業の結果を植生調査から検証する方法、モニタリングを継続的に実施したことにより判明したことなど、幅広い議論を行った。	 <p>現地で植生の確認</p>
					民有林	名			
					事業体	名			
					研究機関	4名			
					その他	2名			
					合計	20名			
エゾシカ対策	平成28年度森林鳥獣被害対策技術高度化実証事業現地検討会	12月15日	北海道森林管理局保全課	夕張市（国有林）	国有林	16名	地域で継続的なエゾシカの捕獲を実施できる体制を構築した上で、エゾシカの動向を把握した上で、最も効果的かつ効率的な捕獲の実証を行う。具体的にはモバイルカリングと小型囲いワナなど複数の手法を合わせた効率的な捕獲を実施	11月21日の検討会の検討結果を受け現地での小型囲いワナの設置、モバイルカリングの実施方法がほぼ確定したので、空知森林管理署の職員向けに現地視察を行った。 その際、空知総合振興局、空知森林室の担当者も出席した。 当日は捕獲事業の実施方法、小型囲いワナ（体重計測式）の稼働方法などについて受託業者から説明を受け、活発な意見交換を行った。	 <p>小型囲いワナ（体重計測式）の視察</p>
					民有林	4名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	3名			
					合計	23名			
エゾシカ対策	平成28年度森林鳥獣被害対策技術高度化実証事業現地検討会	2月24日	北海道森林管理局保全課	夕張市（国有林）	国有林	23名	地域で継続的なエゾシカの捕獲を実施できる体制を構築した上で、エゾシカの動向を把握した上で、最も効果的かつ効率的な捕獲の実証を行う。具体的にはモバイルカリングと小型囲いワナなど複数の手法を合わせた効率的な捕獲を実施	2月24日、捕獲作業がほぼ終了したことを受け、事業の効果を検証するため、学識経験者、関係機関、近隣の管理署や振興局などを交え、現地検討会を開催した。 現地で小型囲いワナ（サークルD）の設置、捕獲などの実施結果について受託者から説明し、それを受け意見交換を行った。 現地視察終了後室内会場にて、実際の誘引や捕獲の様子を動画や写真を交えて説明し、改めて意見交換を行った。	 <p>小型囲いワナ（サークルD）の視察</p>
					民有林	7名			
					事業体	名			
					研究機関	3名			
					その他	3名			
					合計	36名			